

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2022年3月4日から3月8日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として「2022年の日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想」と「個人投資家としての有事の捉え方と投資スタンス」について調査しました。(当社ウェブサイトへの掲載日は、2022年3月16日です)

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、2009年11月から2016年3月までは月次で、2016年4月から2016年12月までは隔月、2017年3月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

また、グループ会社であるトレードステーション証券(米国)、マネックスBOOM証券(香港)の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています。

■調査結果

【特別調査】

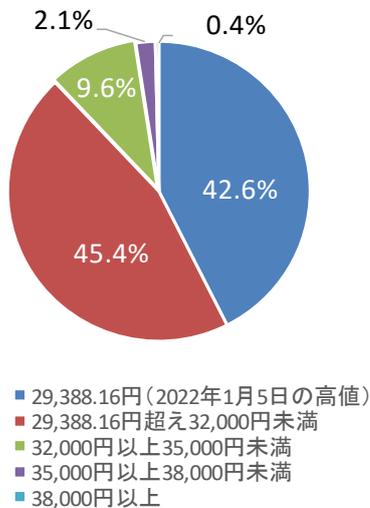
1. 2022年の日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想

特別調査の1つ目として、2022年の日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想を調査しました。

1-1. 2022年の日経平均株価の見通し、高値予想は「29,388.16円超え 32,000円未満」が最多

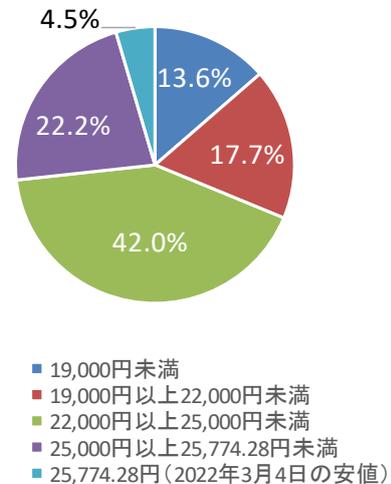
【3月15日の終値：2万5,346円】

グラフ1-1: 日経平均最高値予想



(出所) マネックス証券作成

グラフ1-2: 日経平均最安値予想

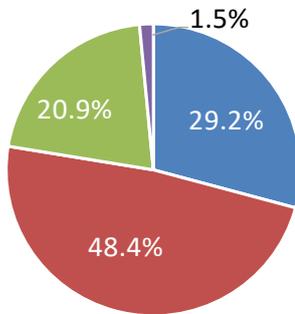


(出所) マネックス証券作成

2022年の日経平均株価の高値と安値予想を尋ねました（調査開始日3月4日終値は25,985.47円）。2022年の日経平均株価の高値予想は「(2022年に入ってからの高値である)29,388.16円超え 32,000円未満」の割合が45.4%と最も高くなりました。続いて割合が高かったのが「(2022年に入ってからの高値である)29,388.16円」の42.6%で、この2つの回答で90%近くと、多くの個人投資家が今年の高値にあまり強気でないことがわかりました。また、日経平均株価の安値予想は「22,000円以上 25,000円未満」の割合が最も高くなり、調査開始時点の日経平均株価の「25,744.28円」よりも一段の株安を予想している投資家が多いことがわかりました。

1-2. 2022年のダウ平均株価の見通し、高値予想は「36952.65ドル超え 38,000ドル未満」が最多
 【3月15日の終値：3万3,544ドル】

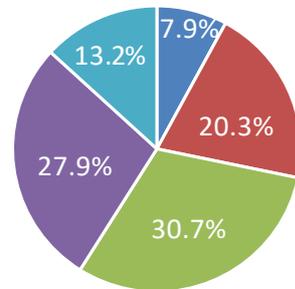
グラフ2-1: ダウ平均最高値予想



- 36952.65ドル(2022年1月5日の高値)
- 36952.65ドル超え38,000ドル未満
- 38,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所) マネックス証券作成

グラフ2-2: ダウ平均最安値予想



- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上27,000ドル未満
- 27,000ドル以上31,000ドル未満
- 31,000ドル以上32,272.64ドル未満
- 32,272.64ドル(2022年2月24日の安値)

(出所) マネックス証券作成

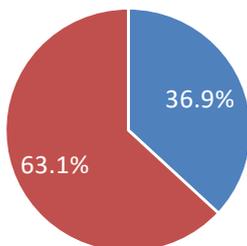
2022年のダウ平均株価の高値予想は「(2022年に入ってからの高値である) 36,952.65ドル超え 38,000ドル未満」の割合が48.4%と最も高くなりました。また、ダウ平均株価の安値予想は「27,000ドル以上 31,000ドル未満」の割合が最も高くなりました。

2. 個人投資家としての有事の捉え方と投資スタンスについて

特別調査の2つ目として昨今のウクライナ情勢に直面している皆様に個人投資家としてどのように有事を捉え、対処しているかをたずねました。

2-1. 過去の有事の際に従来とは異なる投資スタンスを取った割合は36.9%。

グラフ3-1: 有事の際、従来と異なる投資スタンスをとったことは？

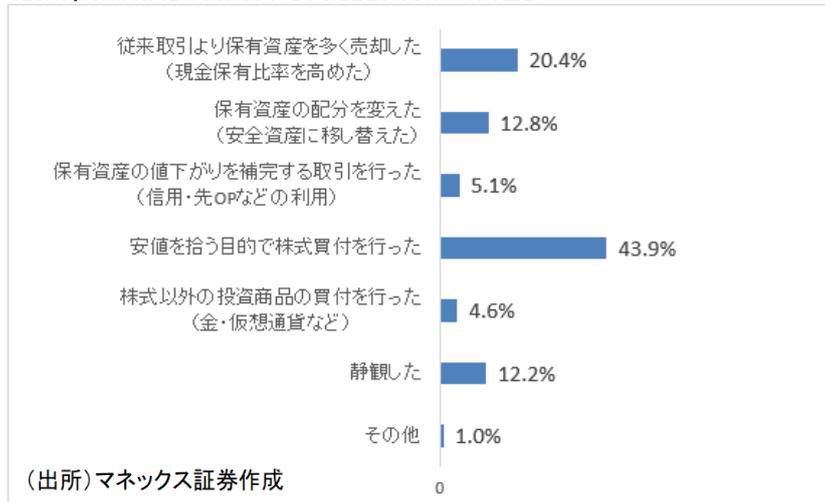


- ある
- ない

(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: 過去有事の際に取った投資スタンスは？

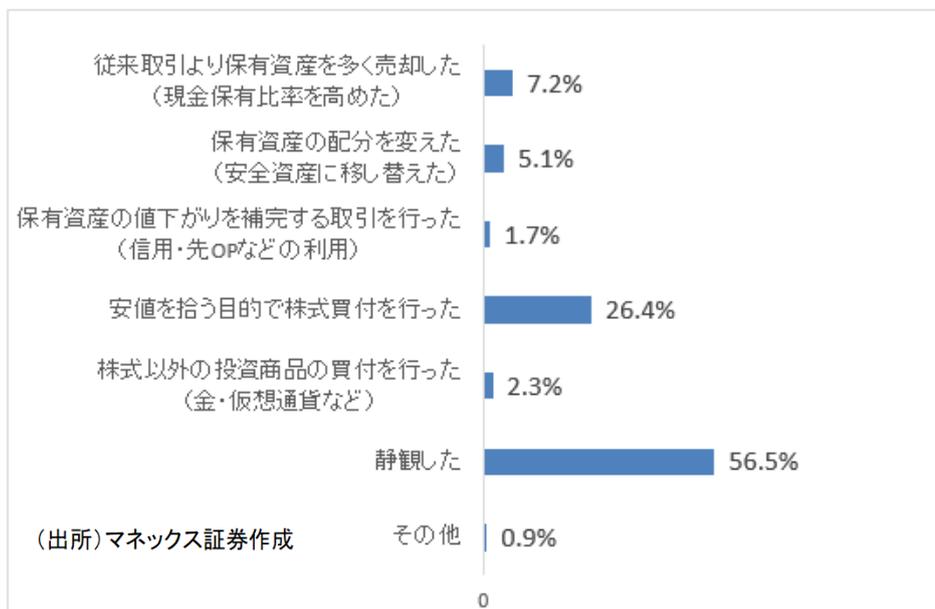
(過去有事の際、従来と異なるスタンスを取ったことがある方196件の回答)



「過去『有事』と一般的に呼ばれた時、従来とは異なる投資スタンスをとったことがあるか」をたずねました。「ある」と回答した割合は 36.9%、「ない」と回答した割合は 63.1%で多くの投資家がスタンスを変えたことがないと回答しました。

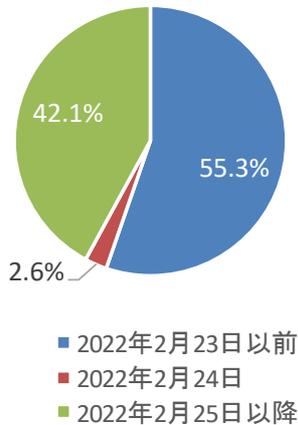
2-2. ウクライナ侵攻でマーケットが不安定な中の投資スタンスは「静観した」が最多

グラフ3-3: 今取っている投資スタンスは？



グラフ3-4: 実際、売却をしたのはいつ?

(保有資産を売却したことがある方38件の回答)



(出所)マネックス証券作成

ロシアによるウクライナ侵攻でマーケットが不安定な今はどのような投資スタンスを主にとっているかをたずねました。「静観した」と回答した割合が56.5%と最も高くなりました。続いて「安値を拾う目的で株式買付を行った」との回答が26.4%となり、一定数の投資家が株式の買付を行ったこともわかりました。

【定例調査～個人投資家の相場観について～】**3. 日本、米国、中国のDIについて**

今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本株DIと米国株DIが前回調査から大きく低下した一方で、中国株DIは若干上昇しました。米国株や日本株の大幅下落を受け弱気な投資家が増えたようです。

【日本株DI】(2021年12月) 18→(2022年3月) -17 (前回比-35ポイント)

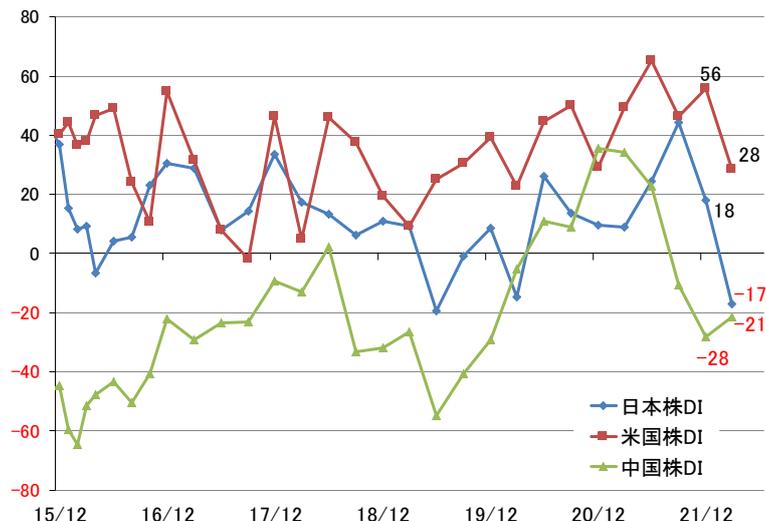
【米国株DI】(2021年12月) 56→(2022年3月) 28 (前回比-28ポイント)

【中国株DI】(2021年12月) -28→(2022年3月) -21 (前回比+7ポイント)

※ DI: DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

(出所)マネックス証券作成

グラフ4-1: 今後3ヶ月程度の株価予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ4-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



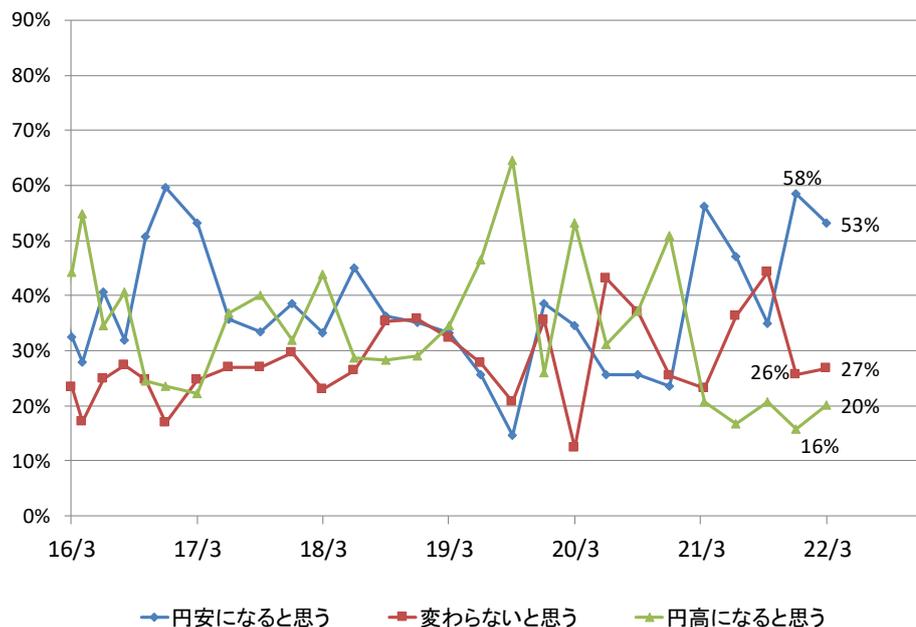
(出所)マネックス証券作成

4. 為替市場について

今後3ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しについて、「円安になると思う」と回答した個人投資家の割合は53%と前回調査の58%から低下しました。「変わらないと思う」と回答した割合は1%増加し、「円高になると思う」と回答した割合は4%増加しました。足元の米ドル/円は円安に振れていますが、「有事の円買い」で円高が進むと予想する投資家が増えたのかもしれませんが。

- 【円安になると思う】(2021年12月) 58% → (2022年3月) 53% (前回比-5%)
- 【変わらないと思う】(2021年12月) 26% → (2022年3月) 27% (前回比+1%)
- 【円高になると思う】(2021年12月) 16% → (2022年3月) 20% (前回比+4%)

グラフ5: 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想



(出所)マネックス証券作成

■総括 (マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕)

今月の調査では日経平均株価やダウ平均株価の今年の高値や安値の予想、及びウクライナ情勢を受けた投資行動について尋ねました。

株価予想については足元の株価調整を受け弱気な投資家が増加していることがわかりました。ウクライナ情勢を受けた投資行動については「静観する」という投資家が多く、まずは状況を見守りたいと考えている投資家が多いことがわかりました。

一刻も早い戦争の終了や平和的な解決を祈るとともに、情勢の変化を受けたマーケット動向についてはスピーディーな情報発信を目指してまいります。

今月も皆様のおかげで大変有意義な調査を行うことができました。ご協力本当にありがとうございました。

2022年3月14日執筆

■調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 531
 調査期間： 2022年3月4日～3月8日

【性別】

男性	女性	回答しない
83.4%	15.3%	1.3%

【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
0%	0.9%	8.5%	19.4%	32.2%	26.2%	12.8%

【金融資産】

500万円未満	500万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円以上
20.0%	17.9%	19.6%	26.9%	10.5%	5.1%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.3%	11.7%	32.4%	27.3%	24.3%

【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年以上
3.8%	20.7%	21.3%	51.2%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
 一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会